

青工研かわら版 6月号 vol 1



第1ブロック 第3回 ブロック会

テーマ 喜びの探究！2～型破りな発想を持って～

開催日 2022年6月16日
時間 19:30～21:40
開催場所 相模原市青少年学習センター
担当者① 大谷勇樹 (株式会社取説 maker)
<https://www.torisetsu-maker.com/>
担当者② 甲斐大輔 (相模カラーフォーム工業株式会社)
<https://s-foam.com/>



ブロック会の目的と手段

本ブロック会は、担当者が型破りな発想を持つ為の切っ掛けを得る事を目的に行いました。

各人がくじ引きで、日用品やブロック員の業種などの要素を5枚引き、その中から2枚以上を組み合わせ、40分以内に世の中に存在していない型破りな商品の開発を行いました。



テーブルに並べられた日用品とブロック員の職種などの要素を組み合わせ、この世に無い商品を考えました。

↑ 各々が引いた5つの内、どの要素を組み合わせ、世に出回っていない商品を開発するか熟考中

商品のプレゼン

討議では、担当者がそれぞれの開発商品に対して、どのような環境、考え方、手法で発想したのかをプレゼンし、各ブロック員から商品を生み出した背景や思想を深掘りし、発想の見える化を行いました。また、ブロック員も相互に出力された発想の背景を知る事が出来、学びとなりました。



担当者（企画者）① 大谷勇樹

今回皆さんのプレゼン、その後の討議の場で、私と皆さんの発想の広がり方を経験出来ました。

私が目指したい発想に近いのは、ワクワクするものを生み出す思考でした。

私はその思考を生み出すには、自分の感性や感覚から出た想いに素直になり、自信を持ち発信する事が重要であると感じました。



改めて日用品やブロック員それぞれの仕事について、どのような背景で使われているのか、どのような優位性があるのか考える良い機会になり、自社の商品やサービスを今以上に活かせる切っ掛けとなるブロック会でした。

担当者（企画者）② 甲斐大輔

4年ぶりとなるブロック会でしたが、自身の課題を抽出し、解決方法を考え、仲間の力を借りて手法を検証する事が出来、ブロック会という場が有る事の重要性を再認識する事が出来ました。

このブロック会で得た事を自社の発展の為に活かして行きます。

